

施策項目 3 0 文化財の保存及び活用の推進

[評価結果]

【担当課：文化財・博物館課】



担当課HP

総合評価	計画どおり
-------------	--------------

定量評価 [指標]	A
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	2	0	0	0
	d 評価となった指標				

定性評価 [施策]	進展あり
<p>新型コロナウイルス感染症による影響等も懸念される中、文化財の活用を図るため、道教委ホームページ等による文化財に関する情報の発信や市町村に対する文化財を活用した事業実施の働き掛けを行ったほか、世界遺産を本道教育に生かすための取組として、世界文化遺産を活用した学習教材の開発や「世界遺産子どもサミット」の開催等を行った。また、文化財の活用に関する指標である「北海道文化財保護強調月間における文化財展示公開・活用事業実施市町村の割合」においても、前回調査時より実績値が上昇しており、施策については進展が見られる。</p>	

[施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」	【D】・・・「Do 主な取組の状況」
【C】・・・「Check 施策の課題」	【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	(1)文化財の調査・保存・活用の推進 ・文化財の現状、修理状況、耐震化の状況の把握及び持続性のある文化財保護に向けた取組
	(2)アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進 ・アイヌ文化財の保存伝承 ・アイヌ文化財の文化財指定に向けた取組
	(3)世界遺産の保存活用の推進 ・包括的・個別保存管理体制の設置・運営 ・本道教育の推進に生かす取組
	(4)文化財に関する情報の発信と文化財に親しむ機会の確保 ・文化財に対する道民の活用・理解促進
	(5)日本遺産の認定と活用支援 ・認定地域の取組支援

[P]	(1)文化財の調査・保存・活用の推進 ①指定文化財の現状調査の実施及び修復等助成制度の周知 ②未指定文化財の指定・登録の促進 ③文化財の耐震化に係る所有者等への働き掛け	[D]
	①文化財パトロールの実施（14管内 計372カ所） ・専門的知識を有する審議会委員との現地調査 ・文化財の修復等に利用可能な助成制度の周知 ②無形民俗文化財の指定に向けた現地調査の実施 ③文化財の耐震対策（耐震化又は地震に対する対処方針の作成）の働き掛け	
[A]	①所有者の負担軽減のため、問題が軽微な状態での修復等が可能となるよう、毎年実施の現況調査を一部見直し、より詳細に把握した結果を踏まえ、重点的にパトロールや現地確認を実施 ②指定に向けた候補選定や指定・登録後も、保存・伝承活用の持続的な取組に向け、市町村や関係部局と連携を図り、所有者等に対して必要な助言を実施 ③専門的な耐震診断や耐震補強を即座に着手できない場合、暫定的に「地震に対する対処方針」の作成の働き掛けを実施	[C]
	①修復等が必要な文化財が確認された場合、国や民間の補助・助成制度等の情報を提供し、所有者負担の軽減を意識しながら修復等を促すことが必要 ②・無形民俗文化財は他都府県と比較し指定件数が少ないため、更なる指定候補の選定が必要 ・有形文化財は、経年劣化や相続等で維持継承が困難となるケースもあるため、指定数だけに着目せず、将来的な維持管理が可能となるよう活用に向けた助言も必要 ③文化財的価値の保存や人的安全性の確保のため、未対策の文化財の所有者等に対して、個別に働き掛けが必要	
[P]	(2)アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進 ①アイヌ文書の翻訳 ②無形民俗文化財であるアイヌの民俗芸能や民俗技術の保存伝承活動 ③アイヌ民俗に関わる文化財の調査	[D]
	①「金成マツノート」の翻訳整理、報告書の作成 ②・アイヌ民族の伝統的な民俗技術、民俗芸能に関する講座の実施（4管内5市町村で計100回実施） ・アイヌ文化財専門職員等研修会の開催（1月実施） ③アイヌ民俗技術等の保護や文化財指定に向けて検討するため、アイヌ民俗文化財調査の実施、調査報告書の作成（3月 アイヌ民俗文化財調査報告書発行）	
[A]	①引き続き翻訳整理、報告書作成事業を実施 ②他地区での講座の実施に向けてアイヌ協会と協議を行うほか、専門職員向けの研修会では、ワークショップ形式を取り入れるなど、より効果的な内容を検討の上実施 ③文化財の指定に向け、文化財の調査状況の把握に努め、保護団体など関係者と合意形成を図りながら、引き続き事業を推進し、調査の成果を報告書として刊行	[C]
	①アイヌ文化の伝承・活用を図るため、未了分の文書の翻訳整理、報告書の作成が必要 ②アイヌ文化の価値や魅力を次代に伝え広く継承していくため、他地区での実施の検討が必要 ③文化財の指定に向けて、文化財として相応しいか調査内容について検討し、関係者の意向を尊重しながら、指定に向けた手続きを進めることが必要	

(3) 世界遺産の保存活用の推進		
<p>[P]</p> <p>①世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」構成資産・関連資産の適切な保存活用 ②世界文化遺産を本道教育の推進に生かす取組</p>	<p>①構成資産・関連資産を管理する市町の整備事業に対し補助主体である国との調整や助言を行い活用を推進 ②・児童・生徒の世界文化遺産や地域の縄文遺跡への理解を促進するため、一人一台端末で利用できる出土品の3Dデータ13点と縄文遺跡のVRデータ4点を作成し、ゲストティーチャー授業で使用（3月にホームページで公開） ・北海道・北東北三県の6市町の児童生徒による、世界文化遺産での保護活動を活用した取組をオンラインで発表する「世界遺産子どもサミット」を開催（11月）</p>	<p>[D]</p>
<p>[A]</p> <p>①構成資産・関連資産における整備委員会に参画・助言 ②・一人一台端末で利用できるデジタル教材の開発と、それを使用した専門家によるゲストティーチャー授業を道内14校で実施し、学校で世界文化遺産や縄文文化についての学習が可能な環境を整備 ・北海道・北東北の児童生徒による世界文化遺産での保護活動を発表する「世界遺産子どもサミット」を開催し、相互理解と今後の自発的な取組を促進</p>	<p>①構成資産・関連資産各1件（史跡キウス周堤墓群・鷲ノ木遺跡）における整備事業を効率的に推進するため、整備にあつたての法令に基づく手続きの確認や他市町の事例の紹介などの助言が必要 ②・児童生徒向けに世界文化遺産や縄文遺跡を解説するための教材の開発と学校での学習環境の整備が必要 ・世界遺産が所在する自治体における児童生徒の交流を行い、相互の理解と自発的な取組の促進が必要</p>	<p>[C]</p>

(4) 文化財に関する情報の発信と文化財に親しむ機会の確保		
<p>[P]</p> <p>①文化財を活用した事業実施に係る市町村への働き掛け ②文化財の伝承に係る情報提供</p>	<p>①北海道文化財保護強調月間（10月8日～11月7日）に関するポスター作成や、期間中の実施事業を道教委HPで公開・周知するなど市町村の取組を支援 ②学校教育や生涯学習の場で活用できるように文化財ニュースレターの発行（年3回発行、市町村・学校等へ配付）</p>	<p>[D]</p>
<p>[A]</p> <p>①市町村に対して、文化財を活用した事業実施を働き掛けるとともに、道教委ホームページで市町村の取組事例を広く情報発信し、市町村の取組を支援 ②文化財ニュースレターの発行回数を増やすなど、文化財情報を発信する機会の拡充</p>	<p>①文化財に対する道民理解促進のため、事業未実施の市町村に働き掛けを行うとともに、道教委として市町村の取組に対する支援を行うことが必要 ②学校教育・生涯学習における学習機会の充実により文化財の伝承に資するため、文化財情報を発信する機会を拡充することが必要</p>	<p>[C]</p>

(5) 日本遺産の認定と活用支援		
<p>[P]</p> <p>①認定地域の取組に対する支援</p>	<p>①日本遺産に関する研修会等を通じて、観光や地域振興など日本遺産の活用促進に向けて、知事部局（文化・地域振興・観光）や市町村に対する働き掛けを実施</p>	<p>[D]</p>
<p>[A]</p> <p>①先進地事例の取組や課題解決のノウハウについて情報収集し、活用促進のために情報提供を行うなど、知事部局（文化・地域振興・観光）や市町村と連携を深め、認定地域の取組を支援</p>	<p>①日本遺産認定後においても、取組状況に応じて認定の見直しが行われることから、認定地域の取組状況を把握し、取組に課題がある認定地域があれば、活用促進について働き掛けることが必要</p>	<p>[C]</p>

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 （調査名等）	実施 主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 国及び北海道が指定する文化財の数（件）	(H29) 331	331	336	337	341	343	344	100.9%	a	指定文化財数の把握	道教委	R5.3.31	国・道指定文化財（国選定文化財も含む）
② 北海道文化財保護強調月間（10月8日～11月7日）に、指定文化財が所在する市町村のうち「文化財を活用した事業」を実施している市町村の割合（%）	(H29) 56.6	56.6	70.1	80.5	-	-	83.1	118.7%	a	北海道文化財保護強調月間における文化財展示公開・活用事業の実施状況の調査	道教委	R4.10.8～11.7	市町村
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		A						
新型コロナウイルス感染症の影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組													
d評価に対する今後の取組													